

人口

〔宮中秘策四〕丹波國 六郡〇中

一人數貳拾七万六千三百三拾六人 内拾四万三千六百貳拾人 女

〔吹塵錄五〕文化元甲子年諸國人數調〇中

一人數貳拾八万貳千四百九拾三〇三恐人 高貳拾九万三千四百四拾五石餘 丹波國

御料私領 内拾四万六千七百八十八人 女男

弘化三丙午年 諸國人數調〇中 内拾三万五千七百八拾三人 女男

御料私領 一人數貳拾八万九百四拾七人 高三拾貳万四千三拾六石餘 丹波國

内拾四万七千五百九拾壹人 女男

〔人國記〕丹波國

風俗

丹波國之風俗ハ、人ノ氣墮弱、面々格々ニシテ、十人ハ十様ニ而我ガ身ヲ自滿シ、人ヲ誹リ、人之譽レ有ヲ可譽トバセズ、而餘之人之、夫ヨリ譽レ多キニタクラベテ是ヲ誹ルノ類ニテ、悉皆女人ノ風俗ニ不異、下劣モ從テ己ガ日夜勤ル處ノ耕作ノ道ハ第二ニ而商賣ヲ本トスル事偏ニ身之榮花ヲセン事ヲ常ニタクミ、都而勇寡フ而諂強ク、昨日味方ニ有シ人モ今日ハ敵トナリ、亦前ニナリ替リ渡世スル類之風俗最衰レ成形儀不及、是非ドモ也、雖然自然ニ能キ人出生セバ、氣ノ柔ナル意地ヨリ、成立風儀ナレバ、雙ブ方ナキ程ノ人モ出來ベシ、天下亂レテ是國ヲオサメバ、五日之内ニ可從ナリ、

〔改正人國記〕丹波按に、當國は、四方山々にて、皆谷間の人家なり、寒雪も、北國ほどはなけれども尤烈し、山谷の内の民なれば偏屈にせばかるべき事なれども、本書に説ごとく懦弱なる所以は、此國城州に隣て、都に近が故、上邦の風俗を見に馴て、自氣の惰出で、木強の質を失へり、婦人の風俗ニ入取しめなくして、疎末なる所なり、